

(第2回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 7年 10月 23日
契約業者名	(一財) 阪神高速先進技術研究所
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪速高速道路ネットワークモデルの実務適用等に関する検討業務(その3)
業務場所	
業務種別	土木設計
業務概要	打合せ・資料作成1式→1式 地震シミュレーションの実務適用に向けた検討1式→1式 地盤応答解析に関する検討1式→1式 長大橋における耐震性評価1式→1式 光ファイバセンシングの適用性検討1式→1式 報告書作成1式→1式
業務期間(自)	令和 6年 5月 11日
業務期間(至)	令和 8年 3月 13日
契約金額	56,518,000 円
変更金額	14,993,000 円 増
変更後の契約金額	71,511,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪速高速道路ネットワークモデルの実務適用等に関する検討業務（その３） 第2回変更

（１）地震シミュレーションの実務適用に向けた検討における表層地盤モデルの改良方法の妥当性検証の追加

過年度業務「阪速高速道路ネットワークモデルの実務適用等に関する検討業務（その２）」において南海トラフ地震動を用いた地震シミュレーションを実施しており、本業務においては、シミュレーション結果の分析により、解析モデル・解析手法の妥当性の検証を行った。

検討を進める中で、解析モデル・解析手法について改善の必要があると判明し、主に課題となる表層地盤モデルに関して、全線モデルの改良に向け、改良方法の効果・妥当性の検証を行う必要が生じた。よって、表層地盤モデルの改良方法の妥当性検証を本業務に追加する。

（２）長大橋の耐震性評価における鋼製橋脚の耐荷性評価の追加

過年度検討において圧縮降伏を超えるひずみが確認された港大橋の端部鋼製橋脚について、隣接橋脚を含めた解析により応答を確認することとしたため、本業務に追加する。

以上